

## 中村 瑞穂

法学研究科・准教授

### 【研究】

令和5年度は、従前から継続して取り組んできた研究テーマ(科研費若手研究「契約の清算と原状回復の不能に関する基礎的研究」(同テーマについては、科研としての研究期間は前年度で終了))及び新たに取り組んでいるテーマ(同若手研究「解除と履行利益賠償の効果の抵触に関する基礎的研究」)について、論文の作成を行った。

令和5年度中には、論稿を一つ公表することができた(「契約の解除と価額償還義務」法学教室513号17頁)。

また、令和5年度中には公表できなかったが、同年度中に行った作業の成果として、令和6年度前期から、阪大法学において、解除の法的構成に関する論稿の連載を開始する予定である。

### 【教育】

令和5年度は、法学部では、講義科目「民法2」、演習科目「演習 1a,1b,2a,2b」、「法政導入演習」、法学研究科では、演習科目「民法2」の授業を担当した。

法学部の民法2では、債権各論(主として、契約法及び不法行為法)の講義を行った。これらの分野に関する基本的な内容を理解したうえで、発展的な事項にも対応できるための基礎的な力を身につけられるよう、説明の仕方や順序等を工夫しながら授業を行った。

演習 1a,1b,2a,2b では、判例研究と事例演習を行った。判例研究の回は、報告担当者による報告と参加者間の議論による形式で、報告能力が向上し、参加者間の議論が活発化するよう工夫しながら授業運営を行った。事例演習では、基本的な理解を定着させたうえで、発展的な内容に対応できる能力を養えるよう、問題選択、順序、説明の仕方等を工夫した。

1年生を対象とした科目である法政導入演習では、判例報告とレポート作成を行ってもらい、準備の過程で、文献の調査方法、判決文や法律文献の読み方、報告の仕方、文書作成方法等の基本的な事項を学んでもらえるよう、授業運営を行った。

法学研究科の民法2では、英語文献の講読を行った。

### 【管理運営】

法学研究科教務委員会委員、法学研究科高等司法研究科学生支援室室員、法政実務連携センター運営委員会委員を務めた。

### 【社会貢献】

日本私法学会運営懇談会委員を務めた。